

泥濃式推進工法編 2013 年改訂版 正誤表

13. 08. 01

頁	行目・図表番	誤	正
139	表 2-21 職種別配置人員	坑外作業工 特殊作業員の (0.5) の説明なし	同表外の注に、 <u>5. 坑外作業工特殊作業員は、日進量が 2.43m 以下の場合は 0.5 人とする。</u> (追加)
173	表 2-55 門型クレーン設備の設置・撤去に用いるラフテレーンクレーン	呼び径 1200~1500 使用ラフテレーンクレーン <u>4.9 t 吊</u>	呼び径 1200~1500 使用ラフテレーンクレーン <u>16 t 吊</u>
184	切羽作業工歩掛表	表下 トンネル特殊工----- <u>遠隔操作方式で呼び径 1200 以上は 1 名計上する。</u>	表下 トンネル特殊工----- <u>遠隔操作方式 (呼び径 800~1350) は計上しない。</u>
188	坑外作業工歩掛表	備考なし	<u>備考：呼び径 800~1350 では特殊作業員は、日進量が 2.43m 以下の場合は 0.5 (人) とする。</u> (追加)
190	滑材注入量 (標準的な注入量)	滑材注入量 (標準的な注入量)	滑材注入量 (標準的な注入量) の表削除 滑材注入量は 185 頁、186 頁の注入量算出式から求め、滑材注入量から別途裏込め注入量を算定します。
190	裏込め注入量	注入量の記載なし	下記表追加

裏込め注入量

普通土・硬質土 (1) (2)	滑材注入量の 40%~60% とする。
砂礫土 (1) (2)	滑材注入量の 65%~75% とする。

204	(8) ラフテレーンクレーン規格 (参考)	呼び径 800~ <u>1000</u> 呼び径 1800 普通土・硬質土 (1) 掘進機 <u>25 t</u>	呼び径 800~ <u>1100</u> 呼び径 1800 普通土・硬質土 (1) 掘進機 <u>35 t</u> 備考：—別途考慮する。 <u>ラフテレーンクレーンは 50 t まで、100 t 吊はトラッククレーンを使用する。</u> (追加)
-----	-----------------------	--	--

208	①10 m <sup>3</sup> 当り運搬日数	D I D区間：有り 運搬距離（k m）8.0 と 14.5 の間の距離 <u>1.05</u> 以下	D I D区間：有り 運搬距離（k m）8.0 と 14.5 の間の距離 <u>10.5</u> 以下
-----	---------------------------	---	---